



第 1 回	<p>テーマ：性別役割分業意識にとらわれない育ち方</p> <p>ジェンダーの概念を「ドラえもん」を使ってグループで意見を交換する。性別役割分業意識にとらわれない子どもの育ちを事例から考える</p>
第 2 回	<p>テーマ：メディアが作るジェンダー意識</p> <p>性的指向と性自認について学び、性的少数者を理解する。LGBT や性別役割分業に関しての表現をテレビドラマ、歌詞、CMなどを材料にグループで分析し、よりよい表現を考える。</p>
第 3 回	<p>テーマ：生物学的違いを考える</p> <p>子育て期の親からの相談に対して、どのように回答するかを考える。それぞれの回答に対して、意見を交換する。</p>
第 4 回	<p>テーマ：性の商品化</p> <p>子どもの権利条約や女子差別撤廃条約を理解し、「JK ビジネス」「援助交際」が子どもと女性の権利を侵害していないかをグループで意見交換する。</p>
第 5 回	<p>テーマ：災害とジェンダー</p> <p>被災時や防災において、ジェンダーによる偏りがどのような問題をもたらすか、どうすれば問題を解決できるかをグループで話し合う。</p>
第 6 回	<p>テーマ：女子差別撤廃委員会からの勧告</p> <p>国連から日本への女性差別に関する勧告は何度もなされているが改善がされていない。その現状を理解し、何が課題かをグループで話し合う。</p>
第 7 回	<p>テーマ：共生社会に向けて</p> <p>6 回までの授業を振り返り、性別にとらわれない共生社会の実現を阻んでいる課題が何かをグループで考える。課題の中から何が最も課題かを話し合い、その課題に対してどのような解決策があるかを話し合う。</p>
第 8 回	<p>テーマ：未来新聞の作成</p> <p>課題が解決したらどのような社会になるかを具体的にイメージする。その未来の様子を新聞記事の形で文章にして、グループで新聞を作成する。最後に、グループごとに発表し意見交換する。</p>
テキスト	適宜資料を配布
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	伊藤公雄他著『女性学・男性学 ジェンダー論入門 第3版』有斐閣、2019 年
課題に対するフィードバックの方法	各班の作品「未来新聞」をプレゼンテーションの後に講評します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>高校の現代社会や世界史、日本史の知識</p> <p>先進国の中では、日本はジェンダーの縛りが強い社会です。新聞やネットのニュースでもジェンダーの問題やセクハラの問題などは取り上げられています。日頃から、何か変だなという感覚を大事にして、個人的な体験にある社会的な原因を考えるようにして、主体的な生き方を選び取ってください。</p> <p>授業の成果物となる「未来新聞」を主要な評価の対象となるレポートとします。グループ学習において進行役や記録係の役割を果たすなどの積極的な参加も評価対象としています。</p>